

=====  
\*\* 日本学術会議ニュース・メール \*\* No.718 \*\* 2020/8/14  
=====

先ほどお送りしたメールニュース No718 について、  
以下の点について訂正がありましたので、訂正の上再送させていただきます。

**【後援】**

誤：公益社団法人地球環境戦略研究機関（IGES）

正：公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）

ご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願い申し上げます。

■-----  
**【開催案内】国際シンポジウム「持続可能な社会のための科学と技術に関する  
国際会議 2020」**  
-----■

2020年9月3日、4日に、国際シンポジウム「持続可能な社会のための科学と  
技術に関する国際会議 2020」をオンラインで開催いたします。

HPに情報を掲載いたしましたので、是非、ご覧ください。

(日) <http://www.scj.go.jp/ja/int/kaisai/jizoku2020/ja/index.html>

(英) <http://www.scj.go.jp/ja/int/kaisai/jizoku2020/index.html>

(参加登録) [https://zoom.us/webinar/register/WN\\_eXLTLEjhRouxz4JOxIx-Bw](https://zoom.us/webinar/register/WN_eXLTLEjhRouxz4JOxIx-Bw)

※参加登録 URL は HP 上では追って公開

**【日時】** 2020年9月3日（木）14時00分～16時00分

2020年9月4日（金）21時00分～23時00分

**【主催】** 日本学術会議

**【共催】** 一般社団法人日本社会学会

**【後援】** 国際学術会議（ISC）、国際社会学会（ISA）、国連広報センター、  
公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）

**【開催趣旨】**

グローバル時代が前提とした人とモノの移動が、新型コロナウイルスに  
よって大きく制限された今、地球レベルでの持続可能性や包摂についての  
議論がさらに重要となってきた。本会議では、コロナ危機後の「ニュ

一ノーマル」における CO2 削減の革新的変化など、持続可能で包摂的な社会を可能とする未来のかたちを展望する。会議では、大きく二つのサブテーマとして、「アジアの挑戦と日本の役割」、そして「地球規模の挑戦と学術の役割」を設定し、社会政策、社会学、政治学といった社会科学の研究者を中心に、学術が出来ることについて議論を進めていく。

【使用言語】 英語

【定員】 500 名

※本件問い合わせ先

日本学術会議事務局（国際業務担当）

<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0120.html>

★-----☆

日本学術会議では、Twitter を用いて情報を発信しております。

アカウントは、@scj\_info です。

日本学術会議広報の Twitter のページはこちらから

[http://twitter.com/scj\\_info](http://twitter.com/scj_info)

\*\*\*\*\*

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://jssf86.org/works1.html>

\*\*\*\*\*

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

過去のメールニュースは、日本学術会議ホームページに掲載しております。

<http://www.scj.go.jp/ja/other/news/index.html>

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

発行：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34